

I 先行する三位一体の神の恵み

1. 父なる「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世（罪人の私達）を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びる（永遠の神との断絶、永遠の刑罰、永遠の苦しみ）ことなく、永遠のいのち（永遠に神に愛される命）を持つためである」ヨハネ3：16
2. 神である御子イエス様は、私達を愛し、私達の救い主としてクリスマスに、この世に来られ、お生まれになった。そして、父母を敬い愛し、聖書を良く学び、礼拝を大切にされ成長された。父なる神を愛し神の律法を完全に守られ、33歳の時に、何も悪い事をしておられないのに、私達の罪（憎しみ、恨み、ねたみ、陰口、悪口、うそ）のために十字架で私達の罪の身代わりに刑罰を受け死なれ、私達の罪を完全に償われた。死に勝利し、三日目に復活し、今は天で、私達の祈りを神に取り次ぎ、地上では、私達の心に住み、いつも私たちと共にいて、私達を守り導いておられる。
3. 聖霊なる神は、救い主イエス様を、マリアの胎に宿らせられた。

「ダビデの子ヨセフよ、恐れずにマリアをあなたの妻として迎えなさい。その胎に宿っているのは聖霊によるのです」マタイ1：20。

ヨセフとマリアの間に普通の結婚の交わりで子供が生まれるなら、その子は、アダム以来の罪を持った赤ちゃんとして生まれる。それでは私達を救う「罪なき救い主」にはなれない。そこでなされた奇蹟は、マリアの胎に神である聖霊が働かれ、救い主イエスをマリアの胎に宿す事だった。ここに罪のない救い主が誕生した。

私達は、このクリスマスの時期に、あらためて三位一体の神の先行する恵みに感謝したい！

その恵みを子供達に、またすべての人に語り伝えたい。

II 教会は「神の家族なのです」（エペソ2：19）と言われている。本日は、エペソ6：4の御言葉を適用し、教会が神の家族として、教会の子供達を育てる使命がある事を学びたい。

「父（神の家族である教会の大人）たちよ。自分の子どもたち（神の家族である教会の子供達）を怒らせてはいけません（愛をもって、その存在を大切にしなさい。愛を持ってしつけなさい）。むしろ、主の教育と訓戒によって育てなさい（教会の将来を担う存在として、大切に愛と主の御言葉で育てなさい）」6：4。

1. 「これをあなたがたの子どもたちに伝え、子どもたちはその子どもたちに、その子どもたちは後の世代に伝えよ」ヨエル1：3。

この2千年間、主の福音が伝えられ、教会が生まれ、存続し、成長し続けているのは、主の福音、御言葉が次の世代に継承され続けて来たからである。私達も、次の世代に信仰、福音を継承することが出来ますように！

次の世代、子供達を育てて来なかった教会は、閉鎖の危機に至ることもある。反対に、次の世代、子供達を神から与えられた大切な存在として愛し、育てている教会は、大人にも活気があたえられ、年を取った時若者から支えられ、色々な世代が支え合い成長している。

2. 主イエスは、すべての年代の人々を大切にされる。年輩の方も子供も。

「あなたがたが年をとっても、わたしは同じようにする。あなたがたが白髪になっても、わたしは背負う」イザヤ46：4。

イエス様が地上におられた当時、子供達は軽んじられていた。しかし、イエスは、子供達も大切な存在として愛された。

「そのとき、イエスに手を置いて祈っていただくために、子どもたちがみもとに連れて来られた。すると弟子たちは、連れて来た人たちを叱った。しかし、イエスは言われた。『子どもたちを来させなさい。わた

しのところに来るのを邪魔してはいけません。天の御国はこのような者たちのものなのです。』そして手を子どもたちの上に置いてから、そこを去って行かれた」マタイ19：13-15。

3. 「行いと真実をもって愛しましょう」 I ヨハネ3：18。

当教会は、子供達を愛する教会である事を感謝したい。

子どもに声をかける。子供祝福式。子供クリスマス会。大人も一緒にゲームを楽しむ、子供達と触れ合う。礼拝説教の質問の準備。良く答えてくれている。純粋な信仰に励まされる。

神が豊かに働かれるJ E C Aのサマーキャンプへの参加費の援助。当教会は、教会の規模の割には、参加者が多い。感謝な恵みである。小さい時から御言葉を聞いて来て、キャンプで主への信仰を確信し、洗礼を希望する子が与えられている。12月24日の洗礼式も。洗礼前後の学び。早く5年生になりたい子も。

子どもに楽器を教える。その結実として礼拝の中の子供賛美。どんなに神はこの賛美を喜ばれていることか。大人も励まされ、共に喜び神を賛美できる恵み！そこに神の祝福と臨在がある！正に神の家族。

子供と遊ぶ。体力に限界があるが。

子供達のクリスマスの劇の指導。

神からの賜物を用いて子供に勉強を教える事等他。

子供達の主にある結婚の為にも祈りたい。

4. 「それぞれが賜物を受けているのですから、神の様々な恵みの良い管理者として、その賜物を用いて互いに仕え合いなさい」 I ペテロ4：10。

大人も子供も無理した奉仕は良くないが、主の教会を共に建て上げる、分に応じた奉仕は喜びである。

本日の御言葉に「主の教育と訓戒（実践）によって育てなさい」：4とある。大人も子供も、主の御言葉と御言葉の実践、主の恵みに感謝して奉仕をさせて「いただく」（して「やる」ではなく）事により、主が育てられ成長させられる。大人にも子供達にも、させていただけの奉仕の出番がある事は大きな励み、恵みである。

体が弱り何かが出来なくなっても、教会の為に祈って下さる事は最高の愛の奉仕である。

「私のためにも…祈ってください」エペソ6：19

Ⅲ 励まし。5年、10年後の当教会の姿を思い浮かべたい。ビジョン！

今の子供達が、小学生、中学生、大学生、社会人に成長している教会。若者は若者がいる教会に集い易い。そこで主と出会う。大人も子供も互いに愛し合い、支え合う神の家族の教会！ハレルヤ。

それを左右するのは、今、神が与えられている子供達を大切に、愛し、主の教育（御言葉）と訓戒、実践、奉仕の機会により育て続ける事。

自分も子供賛美のチームに加わりたいと願っている子供さんがいる事は感謝！

その為には、大人である私たち自身が、神の子どもとして、主の恵みを味わい、主に感謝しつつ、主の教育と訓戒により成長し続ける事である。

主よ！私自身が、御言葉とあなたの訓練により主の御姿に成長し続ける事ができますように！